問①：揖斐川、根尾川の洪水対策について教えてください。

答①：平成20年5月に揖斐川上流部に「徳山ダム」が整備されました。これにより、平成26年の台風11号では、揖斐川（大垣市万石地点）の水位を約2m低下させることができた試算されています。

問②：平成14年7月に発生した浸水被害への対策について教えてください。

答②：調査対象用地では平成14年の降雨により、0.5m～1.0m程度の浸水被害が発生しています。これは、流出先の根尾川水位が高かったため、当該地域内の水が自然排水できず溜まったことによるものです。この被害を受け、当該地域内の水を強制的に根尾川に排水するための排水機場が新たに2か所整備されました。

問③：対象用地を盛土する場合、どの程度までの高さとするればよいですか。

答③：調査対象用地は、浸水想定区域図（想定される最大の浸水被害を示したもの）で5m以上浸水する可能性があるとしてされています。浸水リスクと費用のバランスをご理解いただいた上で事業者様のご要望に応じた高さ・構造とすることが可能です。要した費用はそのまま引き渡し価格に反映されます。